

---

Silent

白蛇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Silent

### 【NNコード】

N5375C

### 【作者名】

白蛇

### 【あらすじ】

学校の帰り道に刺され氣を失った主人公が巻き込まれる奇妙な世界

## 白い霧

学校帰り道僕は背中を刺されたらしい。

生温かい血、激痛。

せめて死ね前に犯人の顔を見ようと振り返ると・・・何故か・  
・彼女が立っていた僕は気絶した・・・

目が覚めると自分のアパートに戻っていた。痛みもない。夢だつたのかと思い刺された部位を見たが、傷痕すらない。

外が暗いので時間を確認すると深夜2時を回っていた。そとは雨が降っている。とりあえずコンビニに行く事にした。

コンビニに着いた。深夜のか人がいない。とりあえず飲み物とおにぎり一つを持ちレジへ。店員を呼ぶが返事がない・・・

何度呼んでも返事がない。といつかさつきから街には人の気配がない。

僕は何も買わずアパートに戻った・・・・

アパートに戻ると鍵が開かない事に気付いた。

こんな時間に隣人を起こすのは迷惑なので、そのまま外で寝る事にした。

朝7時、目が覚めると白い霧が辺りを覆っていた。霧は深く数メートル先が見えない。不安になり隣人の家を回るが誰もいる気配がない。携帯を取り出し知り合いに電話をかける。繋がったと思ったら、ノイズ音が聞こえてきた。気味が悪いのですぐに切った。

アパートの裏から変な音がする。アパートの裏に回ると森があつた。

しかしアパートの裏に森はなかつた筈だが

・・・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5375c/>

---

Silent

2011年1月13日05時33分発行